

令和2年度クリニカル・クラークシップに基づく作業療法臨床教育研究会主催 研修会

テーマ：学生の能力を引き出す実習指導を考える

診療参加型実習では学生ができることから臨床業務に参加します。つまり臨床教育者は学生の能力を引き出し、伸ばす実習指導が必要となります。そのために、対話(フィードバック)したり、観察したり、中間評価をしたりします。しかしそれは、学生が自身の能力を否定的に捉えすぎたり、対象者に関心が向かないという危険性もはらんでいます。今回は診療参加型実習を実践されている講師をお招きし、学生の能力を引き出すための考え方と具体的な指導方法をテーマとしました。

期日：令和2年12月13日(日)

13時30分～16時40分(13時00分受付開始)

会場：Zoomによるオンライン研修会

主催：クリニカル・クラークシップに基づく作業療法臨床教育研究会

会費：会員1000円 非会員2000円

【本会はSIG認定されている団体ですので、日本作業療法士協会会員は1ポイント付与されます】

## 【内容】

講演 1：身体領域の立場から 中澤史江氏（豊島病院）

講演 2：精神領域の立場から 石川英樹氏（蓮田よつば病院）

講演 3：臨床教育者へのアンケート調査から 小林幸治氏（目白大学）

ディスカッション，まとめ

お申込み方法（締め切り 12 月 12 日）

Peatix というイベント管理サイトにてお申し込みを承ります。

下記の URL または QR コードからお申込みください。

<https://ccs-ot-education.peatix.com>

クリニカル・クラークシップに基づく作業療法臨床教育研究会事務局

Mail [ccs\\_ot\\_education@yahoo.co.jp](mailto:ccs_ot_education@yahoo.co.jp) 担当：野村

HP <https://ccs-ot-education.jimdo.com/>